

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市東大宮コミュニティセンター外4施設
(2)施設概要	①所在地 さいたま市見沼区東大宮4丁目31番地1(さいたま市東大宮コミュニティセンター) さいたま市見沼区大字大谷1210番地(さいたま市七里コミュニティセンター) さいたま市見沼区染谷3丁目147番地1(さいたま市片柳コミュニティセンター) さいたま市大宮区高鼻町2丁目292番地1(さいたま市高鼻コミュニティセンター) さいたま市大宮区堀の内町1丁目577番地3(さいたま市大宮工房館) ②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設として設置 ③施設の概要 (さいたま市東大宮コミュニティセンター) 【開館】昭和57年9月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階建 【敷地面積】2,020.52㎡ 【延床面積】3,604.53㎡ 【主要施設】ホール(定員200名)、体育室(定員174名) (さいたま市七里コミュニティセンター) 【開館】平成12年4月10日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建 【敷地面積】2,448.08㎡ 【延床面積】2,127.82㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員220名)、第1集会室(定員18名) (さいたま市片柳コミュニティセンター) 【開館】平成18年4月1日 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建 【敷地面積】8,967.98㎡ 【延床面積】5,211.35㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員400名)、多目的ルーム(定員163名) (さいたま市高鼻コミュニティセンター) 【開館】平成16年4月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建 【敷地面積】1,105.81㎡ 【延床面積】2,010.12㎡ 【主要施設】大会議室(定員120名)、視聴覚室(定員40名) (さいたま市大宮工房館) 【開館】平成10年5月11日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上3階建 【敷地面積】1,240.34㎡ 【延床面積】1,691.90㎡ 【主要施設】第1ワークスタジオ(定員25名)、アトリエ(定員20名)
(3)指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団

(4) 指定期間、指定管理料	① 指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 ② 指定管理料 令和3年度240,709千円、令和4年度243,786千円、令和5年度240,067千円
(5) 施設の管理運営の内容	① 運営業務の状況(利用状況含む) ◇ 利用状況 ・ 利用者数 241,935人(前年度215,336人) ・ 稼働率64.1%(前年度67.4%) ◇ 業務実施状況 ・ コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施 ・ コミュニティ活動等の情報提供・相談対応 ・ 施設の貸し出し ② 維持管理業務の状況 ・ 施設、設備等の保守管理及び修繕を実施 ③ その他の業務 【文化事業】 「ゴールデンウィーク恒例！市民コメディ」(253)、「キッズチャレンジ!!親子でキャンドルアート」(11)、「障害者アート講座」(10)、「キッズチャレンジ!!～大正琴体験～」(10)、「料理講座大宮の名店に習う」(12)、「フラワーアレンジメント講座」(20)など働く女性・子育て支援となる事業を中心に実施しました。また、グループ連携事業として「伝統と自然の写真展」(45)、「動画で学ぶどこでも講座」(54)、市民活動サポートセンターとの協働事業「活動PR展」(962)も開催し、地域の魅力を発見できる事業、交流を目指した事業、新たな生活様式に対応する事業を実施しました。 ※()内の数字は、参加数。
(6) 収支状況	① 収入 ・ 指定管理料 240,067千円 (前年度 243,786千円) ・ 文化事業収入 998千円 (前年度 1,334千円) ・ その他収入 692千円 (前年度 750千円) ② 支出 ・ 人件費 134,270千円 (前年度 131,354千円) ・ 事務費 1,394千円 (前年度 1,411千円) ・ 施設管理費 109,995千円 (前年度 111,225千円) ・ 文化事業費 2,382千円 (前年度 2,446千円)
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	アトリエ・工作室のイーゼルを増やして欲しいとの要望を受け、新規に2脚購入した。(七里コミュニティセンター) プロジェクターを新しくしてほしいとの要望を受け、自己財源により新たに購入した。(片柳コミュニティセンター) 流し台に三角コーナーと洗剤を設置してほしいとの要望を受け、購入した。(高鼻コミュニティセンター) ・ その他、各館に寄せられた様々な意見・要望に対し、速やかにその内容を検討し、対応するよう努めた。
(8) その他	地域連絡協議会を年2回開催し、地域コミュニティの推進と社会福祉の向上を図るとともに、同協議会にて提案された意見・要望などを生かし、市民ニーズに即応した円滑な施設運営を行った。(中規模修繕実施のため、東大宮コミュニティセンターの1回目は書面開催。)

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施	地域連絡協議会や地域団体との協働事業、近隣小学校等の児童作品展など地域交流の講座やイベントを行った。また、市民活動サポートセンターの協働で、活動サークルのPR展を開催した。さらに、地域支援事業として、地域支援講座を実施した。
コミュニティ活動等の情報提供	事業団ホームページおよび生涯学習情報システムなどを活用した広報を取り入れ、若い世代にも情報提供を行った。講座のチラシを他館に掲示し近隣住民への広報を行うとともに、グループ施設近隣の小学校・中学校へ子供向け講座の広報として「キッズチャレンジNEWS」の配布を依頼・実施した。
施設の貸出	職員による定期的な施設巡回、備品の整備を行うとともに、窓口対応やアンケートで利用者からいただいたご意見を反映し、消耗品や設備品の購入等を行った
施設維持管理	指定管理者基本協定書の業務仕様書に基づき、施設点検・巡回を実施し、館内外の美化および安全管理に努めた。施設の長寿命化や不具合改善のための修繕を10件実施した。ごみ減量マネージメントに取り組み、削減を行った。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

感染症への対策を継続しつつ生涯学習・地域支援・地域交流のきっかけ作り、安心・安全な施設の提供に取り組みました。また、グループ運営という視点から、広域における地域交流を目指し「東大宮グループフェスタ」を開催しました。加えて、地域住民の支援を念頭に「地域支援講座」を開催しました。経費削減の取組みとしては、グループ内における再委託業務を一括契約することで経費削減とともに効率的な施設管理を目指しました。

今後においては、日々変化する社会情勢や生活様式に対応していけるよう、あらためてコミュニティ活動の今後を見据えることで、時代にマッチした施設運営と事業実施に取り組んでまいります。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 **(B)** ※A～D

1 項目別の評価

(1) 市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する取組

- ・利用率の低い部屋を使つての事業や、利用の少ない夜間での事業を企画するなど、利用率の向上に努めている。
- ・ロビー展示や、季節の飾りつけ等により誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
- ・利用サークルや自主事業の行使のSNSに施設の掲載を依頼し、認知度向上に努めている。

(2) 経費削減に関する取組

- ・グループ単位での委託業務契約を締結し、経費の縮減に努めている。
- ・光熱費削減のため、窓に冷暖房効果を高めるシートを貼ったり、利用していない共用スペースの消灯や冷暖房をOFFにして節電に努めている。

(3) 適正な管理運営の確保に対する取組

- ・設備担当による館内巡回、職員による定期巡回などのほか、モニターでの確認による安全管理に努めている。
- ・外部団体が主催する研修に積極的に受講し、業務への理解を深めることに努めている。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、施設の適正な管理運営の確保及び市民サービスの向上に努めていただきたい。